

## 「プロセス指標等一覧シート」に関して

### (区市町村担当者の方へ)

#### 許容値について

レーダーチャートでは、簡便性を考慮して「許容値」をチャート外端の値としています。しかし、許容値は国の報告書において暫定的に位置づけられたものであり、許容値に到達していれば問題ないという意味ではありません。たとえ「許容値」に到達していても、状況を振り返り検討するとともに、今後も改善を行っていくことは重要です。

#### 評価結果について

評価結果の記述については、プロセス指標値が許容値に到達したか否か重視した内容になっております。記載内容については、今後さらに充実に向けて検討してまいります。

#### 要精検率について

要精検率は、今までがん検診を一度も受けたことがない方が多く受診するなどした場合、高くなる場合があります。初回受診者の占める割合や受診者の年齢分布といった受診者の特性などプロセス指標に影響する要素の状況等を踏まえて各地域で詳細にご検討ください。

#### 陽性反応適中度及びがん発見率について

国の示すプロセス指標は、受診率、要精検率、精検受診率、精検未把握率、精検未受診率、陽性反応適中度、がん発見率ですが、現時点では都内では精検未把握率が高く、陽性反応適中度、がん発見率の評価が困難であるため、この2つを除く5指標によりグラフを作成しています。精検未把握率が十分低くなった段階で、がん発見率等をレーダーチャートに加えていくことを検討いたします。